

す。指で触った時、砂を触った時のザラザラした感じと違って、心持ちふんわりした感触です。

⑧層は10 cm～20 cmの厚さの泥質凝灰岩層です。

このがけで観察される④層と⑧層はくり返し重なりあっている互層で、新第三紀中新世の中期に海底に積もってきた地層です。もちろん海底火山の盛んな時期で、多くの火山灰が噴出され、土砂を混じえて海底に堆積して凝灰岩となりました。また、これらの地層は河内層と呼ばれ、浄土松公園で観察される白っぽい地層の下盤に当たります。

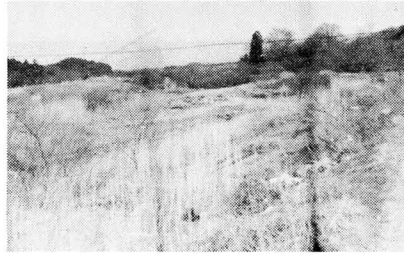
## 2、川原のようすと流水のはたらき

### (1) 調べる場所

逢瀬川の河内橋（学校前の川原）

### (2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

① 土手の上から川の全景をスケッチする。



② 川原や、岸のけずられている場所などを書き入れる。

③ 川の流れが曲がる所で、岸がけずられているのは、内側か外側か調べる。

また、川原は流れの曲がっている内側できているか、または外側か。他の場所でも調べる。

### (3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原から向こう岸に進むにつれて深さはどう変わるか。

② ⑦附近は早瀬になっている。⑦の川底のレキと④（早瀬でない場所）の川底のレキとで大きさはどうか。

③ 川原の近くと、向こう岸近くとで流れの速度はどうか。うきを流して比べてみる。また、⑦、④付近でそれぞれ10 mの長さを測って、流速を調べる。

